

「サラリーマン時代の経験を生かしたいいちご経営」



服部 康政 (39歳) 新規参入
(喜多郡内子町)

1 就農の動機・理由

高校卒業後、様々な職種を経験。結婚後、妻の父が共同経営する農業法人(有)エコファームうちこに就職。在職中に農業のやりがい・可能性を実感するが、経営方針の相違から退職。自分で経営した方が儲けられる自信があったため独立した。

平成 13 年～18 年

河原学園愛媛電子ビジネス専門学校

平成 18 年～23 年

エコファームうちこ

平成 24 年 独立就農

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農前の経営 (平成 23 年)	現在の経営 (平成 27 年)	将来の経営 (平成 32 年)
労働力		男 1 人(本人) 女 1 人(妻)	男 1 人(本人) 女 1 人(妻)
経営耕地		畑 88a	畑 88a
経営内容		施設いちご 1,400 m ²	施設いちご 1,400 m ²

○農業用施設

ハウス 4 連棟 1,400 m²

育苗ハウス 1 棟 300 m²

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

昭和 51 年 松山市生まれ

平成 6 年～9 年

日立製作所システム開発研究所

平成 10 年～13 年

カトーレック松山工場

(2) 就農後の経営の展開過程

平成 24 年 10 月から土地造成・施設整備を開始し、平成 26 年 3 月より内子フレッシュパークからりを中心に直売所への出荷を開始。その後、経営の安定化を狙って、(株)フジ・アグリフーズと契約、出荷の中心を変更する。

いちごの品種は、垣本商事(株)育成の甘雫姫(かんなひめ)が中心。連続出蓄する特性で収量の安定を狙う。

4 就農時の取り組み

(1) 就農地の確保

知人の紹介で農地 88a を借地。

(2) 技術・経営能力等の習得

(有)エコファームうちこ在職中、いちごの観光農園を担当、育苗から本圃管理まで栽培技術を身に付けた。

垣本商事(株)の品種・施設を導入したことで、就農後も直接栽培指導が受けられる。

日商簿記 2 級を取得済み。(有)エコファームうちこで経理担当もしていたことで、農業経営の知識も身に付けた。

(3) 資金の確保

就農施設等資金、スーパーL資金、
経営体育成支援事業、青年就農給付金、
自己資金

(4) 住宅の確保

町内賃貸住宅

(5) その他

(有)エコファームうちこ在職中から、
内子町青年農業者協議会に入会し積極
的に活動している。このことがきっか
けとなり、(株)フジ・アグリフーズとの
契約にも繋がった。

5 農業経営の特徴

直売所や直接取引が中心のため、完
熟での出荷が可能、高品質高単価が狙
える。また、自分に合った品種選定に
よる安定収量と高単価による経営安定、
作業負担軽減が狙える。

天敵の導入、木質ペレットボイラー
使用など、環境にやさしい農業にも取
り組む。

6 今後の経営の目標

栽培技術習得や販路確保などの条件
は整っているが、異常気象など自然現
象に対応するための技術や経験が不足
している。より安定した経営をするた
めにも、より高い目標を持って技術を
極めていきたい。直接取引での新しい
販売方法などの提案も受けているので、
その期待に応えられる、より高品質な
ものづくりを目指す。

7 成功したキーポイント

ある程度の軌道に乗ったのは、多く
の人間関係があったからだと思う。知
人を通じた農地確保、内子町青年農
業者協議会からの販路確保、品種・設備

でお世話になっている垣本商事(株)や木
質ペレットボイラーのリースでお世話
になっている(有)内藤鋼業も前職で培っ
た人脈のお陰である。農地周辺の方
にも、いろいろとお世話になっている。

また、経理簿記など様々な経験も農
業だけでなく、多方面から経営を見る
のに役に立った。

8 就農を目指す方へのアドバイス

単純に農業がやりたいという気持ち
だけではなく、経営をするための知
識・技術をあらかじめ身に付けておく
必要がある。

人脈作りのためにも、地域の青年農
業者協議会などには入った方が良い。

○指導機関からのひとこと

服部さんはいちごの栽培技術はもと
より、経営感覚にも大変優れていて、
就農4年目ながら我々の予想を大きく
上回る収益をあげています。

今後も安定した経営を続けられ、農
業は経営次第で儲かるというお手本に
なることを願っております。

執筆機関

八幡浜支局地域農業室

大洲農業指導班

電話番号 0893-24-4125



いちごの収穫